

2022年度

コミュニティ・コラボレーションセンター

活動報告



コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを基に、「地域に根差し、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行うセンターです。学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、生きた学びを得て成長するようにサポートしています。昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で学外での活動に大きな制限がかかる中での2022年度の活動の一部を、以下の通り報告します。

CCC Topics

●伝えたい、SDGs大学生のチカラ

コロナ禍を経て、9月24日に初めての開催となる「伝えたい、SDGs大学生のチカラ」を開催しました。市民の方や子どもたちに、学生たちの日頃のSDGs活動を知っていただけるように、活動紹介を兼ねたワークショップや、活動に付随する物品販売を行いました。



CCC開設科目

CCCでは社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

「企画立案の基礎」では、連携するNPOより課題をいただき、その課題に対してチームで話し合いながら、提案内容を企画していきます。課題提供のNPOへ中間プレゼン、最終プレゼンを行う中で、チームビルディング、情報収集やプレゼン手法、ニーズの汲み取り方など様々なことを学びます。連携したNPO法人WAFCAさんの協力で「タイの障がい児を持つ家族に向けた支援」を課題として企画を立案しました。



学生の活動

CCCでは学生の活動を支援しています。今年度も様々な分野で活躍しました。

●フードパントリー事業

今年学生団体としてスタートしたパスレルは、フードパントリー活動を行う団体です。食品ロスや食を必要とする方々への支援について学んだ学生たちが、学内の他の学生に呼びかけ集めた食材を持参して、月1回、豊田市保見団地の朝の子ども食堂の配布に継続的に通っています。また、学内にセカンドハーベスト名古屋への寄付ができる自動販売機を日本コカ・コーラ株式会社と連携して設置。学内外で、幅広く活動しています。



●名古屋市受託イベント「サイクル で エシカル」

洋服、食べ物、人などの様々なサイクルを通じてエシカルを考える機会を生み出し、消費に繋げるためイベントを開催しました。学生が大学近郊にある店舗と協力し、店舗一押しのエシカル商品について学び、「どこが“エシカル”か」ということについて説明しました。また、プラスチックバックの代替品として注目をされている“ふるしぎ”を使ったワークショップも行い、エシカルを生活に浸透させるような試みも行いました。



CCCでは様々な企業、行政、NPOとの連携で多くの学生が事業参加しています。